

今月に入り、陽気な暖かさが続いております。雪も溶け日曜日になるとジョギングする学生や野外でスポーツを満喫する多くの学生が見受けられます。今学期の報告では留学生活での最大の壁とマイクロソフトの CEO であるビルゲイツの来校と、そして **International Student** (日本人留学生) のアメリカと日本での就職活動を報告させていただきます。

留学生活での最大の壁

今学期の当初、自分の英語力に対して伸びているのだろうかと思悩む日々が続いていました。確かに留学前と比べて格段と英語力は伸びています。しかし、日本で習ったことのない新しい分野の **Discussion** となれば回りの **Native Speaker** のスピードについていくのがやっとなです。毎回の **Discussion** の後に悔しさと疲労感が襲って来ました。先週、OISA (**The Office of International Student Affairs**) に相談しにいった所、この壁は多くの **International Student** が体験しているとのことでした。実際に、日本人の正規の留学生の人たちも同様の体験をしており **Discussion Section** での発言の難しさを再認識しました。この報告書を見ている今後の派遣留学を希望する方たちは、できる限り日本で英語力を向上させ授業中に自分の意見をしっかりと **Native Speaker** に伝える能力をつけていただきたいと思います。今は、原点に帰り自分の今の英語力でのこりの3ヶ月をやり通すこと、それが今の対処方であると言い聞かせ最大の壁を乗り越えようと思います。

ビルゲイツの来校

去る2月19日に株式会社マイクロソフトのCEOであるビルゲイツ氏が来校し講演をされました。彼は **Five Campus Tour** で最初にここ **University of Illinois** を選んだそうです。その理由として **Internet Explore** のバージョン情報に書かれているように **University of Illinois** の学生が開発した **NCSA Mosaic** が元になっていることが挙げられます。彼の話によると驚くべきことに **UIUC** の **CS (Computer Science)** の学部は世界中で一番 **Computer Engineer** を輩出しているそうです。改めて、コンピューター工学のレベルの高さを感じます。800人の先行無料チケットは残念ながら発売1時間で売り切れになり、チケットは取れなかったものの講演はテレビで生中継を友人と見ることができました。社会の実践で活躍している方々の貴重な話は専攻に関わらず大変参考になります。金沢工業大学にも実験創造学という活躍なさっている方々の貴重なお話を聞く機会があり一人でも多くの学生に足を運んでもらいたです。

International Student（日本人留学生）のアメリカと日本での就職活動

今月からアメリカの大学でも就職活動が始まっています。世界の名だたる会社が多く、多くの会社が優秀な人材を発掘するため直接大学にやってきて専攻の学部ごとにインタビューが開かれるということです。日本と違い SPI などの試験はなく基本的にインタビューと履歴書、GPA（QPA）の結果が就職を左右します。またアメリカ国籍をもっていない **International Student** にはかなり就職活動は不利らしく会社からアメリカ国籍をもっていない場合インタビューさえ受けさせてもらえません。また更に状況を悪化させているのが、日本との就職活動の形態や時期のギャップです。例えば、アメリカに留学している多くの **International Student** は実質5月の春学期の終了と同時に就職活動を母国で再開しなければなりません。一例を挙げると、先日も今年で卒業する友人の日本人正規留学生が就職活動時期のずれや日頃の忙しさから就職活動が全くできないと悩んでおりました。アメリカに留学している日本人の留学生と日本の大学を卒業する大学生が同時に就職活動を始められるというような協定を検討する必要があるのかもしれない。

以上